



WWF

牛さる

たぬには

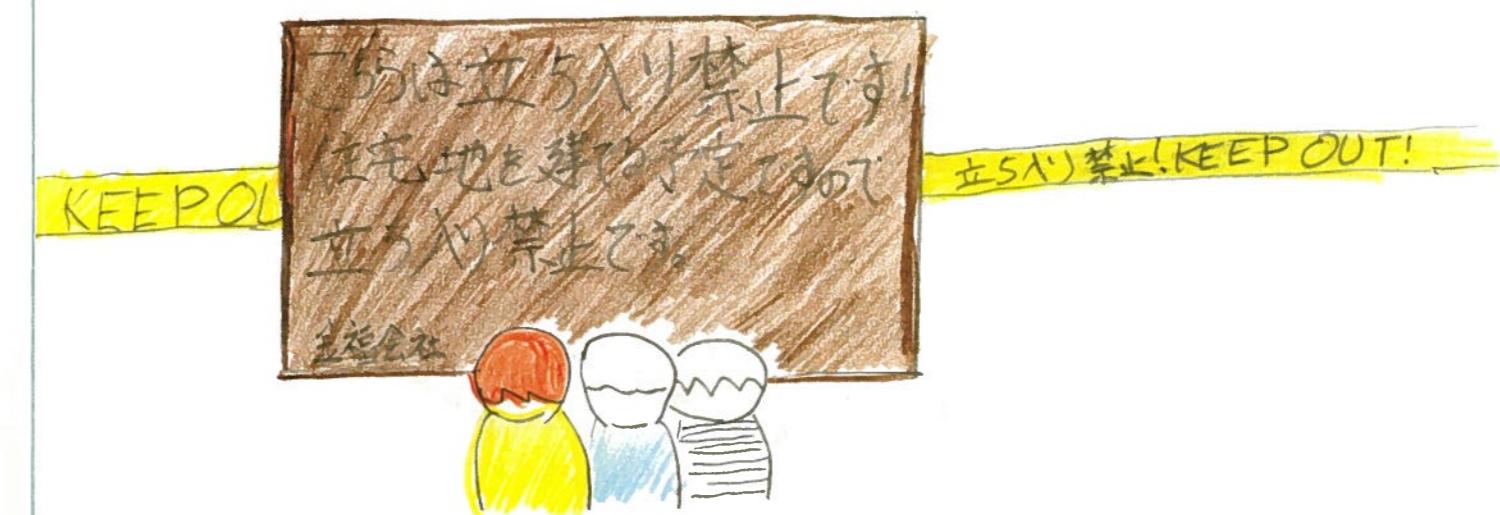
作・絵：西川徳久

健太は森が大好きな小学4年生でした。
健太はいつも森で遊んでいて、昆虫採集など
をしたり、心を落ち着かせるために森の草
の上でねそべったりしていました。

空気がきれいで、小鳥の鳴き声や花や
草のきれいさ、森の全てが大好きだった！



だが、そんなある日のことだった……



「え？」と看板を見た健太達はおどろいた。
まさか、この大好きな森が壊されてしまうなんて！
と思いつき、この森のむさし姿が頭に浮かんだ。
そんな時だった。



「キヤー！」と叫び声がした。あと、りんごと共に何かが落ちてきた。



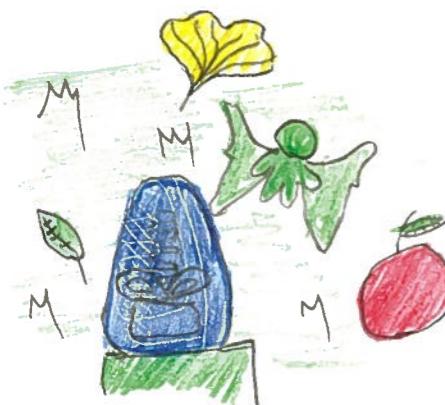
足元を見ると、緑色のトサカい妖精のような生き物がいた。

「うわー！」健太達はびっくり

して逃げた。

すると妖精は追いかけてきた。

健太達はモ、と逃げた。

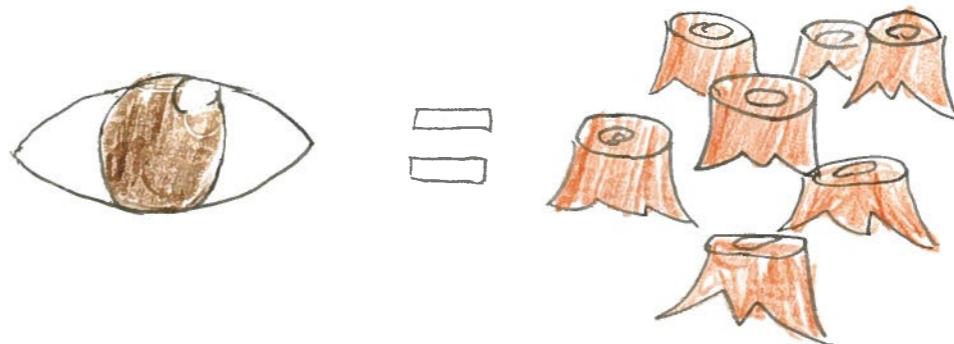


「まて！ 少し話がしたいだ
ゼエ… 僕はロビン。森の妖精。
いま地球で大変なことがゼエ…
起こっているんだよ…！」

「と、どういうこと？」



「今、現在の地球の森林はキのすごいスピードで減っているんだ。
例えば、まばたき一回でサッカー場1分の森が消えているんだ」



「えええ！ なんだって！ 今この時間でも減っているっていう
こと!?」



「そうなんだ。

このスピードでいくと百年後には森林が消えるんだ。

あと、食もできなくなってる、皆死んでしまうんだ。」





健太は妖精が言った「さようなら」が心に残り、金福会社のビルへ向かった。向かうと中、金福会社の社長の悪魔のような顔を想像した。



ビルへ着くと社長室に入った。そして、社長の金福さんにうたえた。「あなたは世界を終わらせる気ですか。すぐに計画をやめて下さい！」



すると、社長は「できる限り努力するよ」と言い残して去ってしまった。

「ちょっと待って……」健太は言つたが戻つてこなかつた。健太は不満げにがいははいた。



健太は起きると、ま、先に森へ向かった。
すると、住宅地を囲んでいた青いビニールがほかされていた。
全てはかさわると健太は顔に笑みを浮かべた。



緑に囲まれている住宅地があ、たのた! 池や沼、広大な自然林、家はジャスミンの良い香りのね花で囲まれて、電柱モ木ててきていた。金福さんは設計図を書きかえたのであった! そして健太は金福さんは悪い人ではなかたと気づいた。動物のいない、不健康な木だけ伐り倒して、その場所に家を建てたのだ。

健太はその住宅地を気に入り、家をそこに
引っ越したのであった。健太もいつも通り昆虫採集
を始めたのであった。

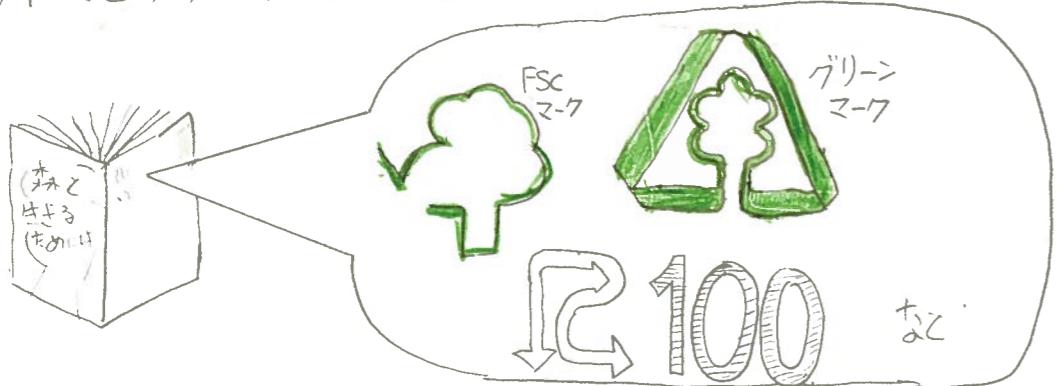
そんなある日だった。チョウを捕まえたと思い
虫あみの中を見るとそれはロビンだった!



「あっ！」と健太はおどろき、
出してあげると白ビンが
話しかけてきた。

「-ってってってって、ハロー！ ありがとう！ 期待して良かったよ！ でもね、身近に森を守れる方法もあるよ。

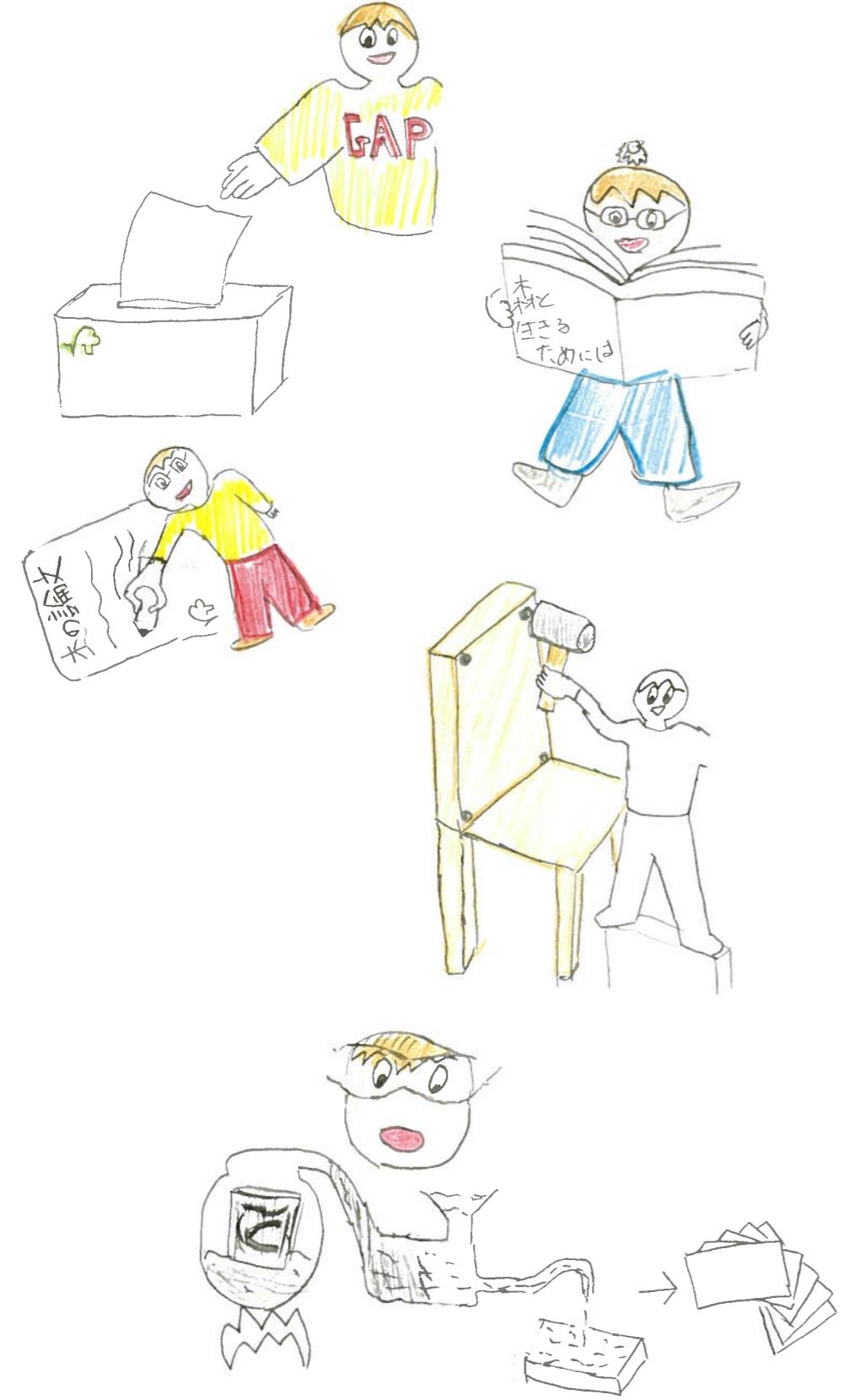
例えは「FSC」いう森を守るマークとが「R100」いう古紙をリサイクルした紙に はれれるマークがあるんだ。



「あと基本的に紙をむだにしないとか、
古い本をすてないで、友達に貸したり、卖ったり
とかいっぽいあるよ！じゃあね！いつかまた！」
ロビンは消え、健太はきれいな地球の姿が
頭に浮かんだ



その後、健太はFSCマークなどの森を守るマークがついた紙をできるかぎり使ったり、紙をむだにしなかったりして森に気をつかい、さらに森がとっても好きになりました。



そして、またまたある日ロビンは話しました。
「人間には過ちがつきものなんだ。健太も金福社長が悪いんだ、と思ってしまう、でもね、人間はその過ちに気づいて改める、へう所が良い所なんだよ。
だから、人間のその悪い所を良、戸口でがぶせるっていうことが大事なんだよ。例えば、木を伐っても、植林するとか。」「そっかー。うん。」健太はうなずくとロビンは消えてしまった。
「そっか。森と生きるためにには……えっと何だけ?
ロビンが言っていたこと。えっと……」



最後まで読んでくれてありがとう！



この絵本は、2018年に行った「WWFジャパン森林絵本コンテスト」で、優秀作に選ばれた作品を本にしたもの。

いま、豊かな森が減り、野生の生きものたちの数も少なくなっています。世界の環境を守る「WWFジャパン」では、森にすむ生きものたちに、いまどんな問題が起きていて、どうすれば良いのかを学んだ小学生の皆さんから「絵本」を募集しました。小学生の皆さん、授業で、森や自然、野生動物について学んだことや気づいたことを「絵本」にして家族やお友達に知らせようと、一生懸命工夫して物語を作ってくれたのです。

みなさんは、この絵本を読んでどう思いましたか？ 感想を、ぜひ家族や周りのお友達と話し合ってみてください。森や、そこにすむ生きものを守りながら暮らすにはどうすれば良いか考える人がたくさん増えることが、森や動物を守ることにつながるからです。

私たちにできることのヒント「FSC®」マーク

私たちが使う紙は、森の木から作られています。むやみに木を切ってしまえば、動物たちのすむ場所もなくなってしまうかもしれません。「FSC®」は、森の生きものや、周囲に暮らしたり働いている人のことを考えて、きちんと管理された森や、そこから生まれた紙に付けるマークです。動物たちの暮らしにできるだけ負担をかけないように森を使うようにしているので、FSCマークがついたノートなどを使うことは「森を守りながら使う」ことにつながります。ぜひ、このマークを覚えてください。



WWFって？

WWFは、100カ国以上で活動している地球環境保全団体です。1961年にイスラエルで設立されました。地球上の生物多様性の保全と、人の暮らしと自然環境や野生生物に与えている負荷の軽減を柱として活動しています。



現在、特に力を注いでいるのは、森や海などの生態系を保全すること、木材や魚介類など、自然資源の利用を持続可能なものにすること、地球温暖化を防ぐこと。WWFのサポーターになることは、今すぐ、誰もが始められる環境保全です。人と自然が調和して生きられる未来を築くために、ぜひあなたの力を貸してください。



WWFジャパン（世界自然保護基金ジャパン）

<http://www.wwf.or.jp>

東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル3階

TEL: 03-3769-1241 (平日 10:00 ~ 17:00) Email:hello@wwf.or.jp

「WWFジャパン森林絵本コンテスト」2018 実施概要

参加校

青山学院初等部

アメリカンスクールインジャパン

沖縄アミークスインターナショナル小学校

つくば市立学園の森義務教育学校

西町インターナショナルスクール

ニューインターナショナルスクールオブジャパン

ブリティッシュスクールイントーキョー

幕張インターナショナルスクール

ユナイテッドスクールオブトーキョー

主催 WWFジャパン

協賛 王子ホールディングス株式会社

王子ネピア株式会社

協力 株式会社カスミ

ペんてる株式会社

監修 堀井清毅 教諭

(西町インターナショナルスクール)





9784101025032



本文に古紙パルプ配合率100%
再生紙を使用しております。



「WWFジャパン森林絵本コンテスト2018」受賞作品

この絵本は、王子ホールディングス株式会社のご支援により制作されました。

用紙提供：王子エフテックス株式会社

用紙名：OKミューズガリバーグロスハイホワイト 157 g / m²

印刷協力：文化堂印刷株式会社

